



## 平成25年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社くらコーポレーション

コード番号 2695 URL <http://www.kura-corpo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長

(氏名) 久宗 裕行

TEL 072-368-6211

四半期報告書提出予定日 平成25年9月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年10月期第3四半期の連結業績(平成24年11月1日～平成25年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第3四半期	65,303	—	3,476	—	3,842	—	2,163	—
24年10月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年10月期第3四半期 2,218百万円 (—%) 24年10月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年10月期第3四半期	104.53	—
24年10月期第3四半期	—	—

(注) 平成25年10月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年10月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	—	%
25年10月期第3四半期	36,040	—	21,496	—	—	59.6
24年10月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 25年10月期第3四半期 21,496百万円 24年10月期 一百万円

(注) 平成25年10月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年10月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
24年10月期	—	0.00	—	12.00	円 銭	12.00
25年10月期	—	0.00	—	—	円 銭	—
25年10月期(予想)	—	—	—	12.00	円 銭	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年10月期の連結業績予想(平成24年11月1日～平成25年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,386	—	3,748	—	4,062	—	2,061	—	99.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年10月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年10月期3Q	20,699,800 株	24年10月期	20,699,800 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

25年10月期3Q	120 株	24年10月期	26 株
-----------	-------	---------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年10月期3Q	20,699,766 株	24年10月期3Q	20,699,800 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましては、P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年11月1日から平成25年7月31日）におけるわが国経済は、平成25年4－6月期のGDP成長率が3四半期連続のプラス成長となるなど、経済に持ち直しの動きが見られました。

また、平成25年6月の完全失業率が約5年ぶりに3%台に低下し、民間企業のボーナスが金額ベースで上昇するなど、消費者の雇用・所得環境の改善もあり、個人消費も底堅く推移いたしました。

外食産業におきましては、平成25年7月の外食売上高が3ヵ月連続で前年を上回るなど、消費者の外食支出は堅調に推移いたしました。しかしながら、外食・中食・内食と食に関わる企業間の顧客獲得競争は激しさを増し、また、消費税の引き上げが見込まれるなか、消費者の購買行動も不透明であり、当社を取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは、創業以来のコンセプトである『四大添加物（化学調味料・人工甘味料・合成着色料・人工保存料）』を完全に排除した商品で、「美味しさ」を提供し続けております。

5月末に新発売いたしました「7種の魚介だれ『すしやのうな丼』（税込598円）」は当初、7月22日の「土用の丑の日」までの販売予定でしたが、持ち帰り販売を含め予想を上回るご支持を受け、期間を延長し現在も販売中です。また、商品をすばやくお届けするオーダーレーン設置店舗の増加により、従来の回転寿司レーンでは提供が難しかった「かき氷（税込241円）」を7月より新発売いたしました。

販売促進面におきましては、5月に「極上とろ祭り」、6月に初夏には珍しい「極上かに三昧フェア」を開催したのをはじめ、7月には「極上本まぐろフェア」に合わせ、人気アニメ「銀魂」とタイアップし（近畿2府4県は阪神タイガースとタイアップ）、デザートにおけるコラボ商品の展開や、ビックラボン！の景品としてオリジナル商品を提供し、ご好評をいただきました。

また、6月より手塚治虫のマンガ作品を無料配信する無線LANサービス「TEZUKA SPOT」を全店舗で開始いたしました。これはお客様がお持ちのスマートフォンやタブレットで、店内において無料で手塚治虫マンガ全400巻のほか、当社グループの食への取り組みを題材にした手塚プロダクションの新作連載漫画「KURA」などを読むことができる日本初のサービスです。混雑時のご利用や、新たな顧客層の獲得に繋がるほか、日本独自の進化を遂げた「マンガ」創世期の作品に、新たに、改めて触れていただく機会をご提供いたします。

店舗開発につきましては4月に長崎県、5月に岩手県、6月に青森県に初進出し、西日本地区で11店舗、東日本地区で9店舗の計20店舗を新規出店した結果、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は、全て直営で334店舗（「無添蔵」4店舗、米国子会社「Kula Sushi USA, Inc.」6店舗を含む）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は653億3百万円、営業利益34億76百万円、経常利益38億42百万円、四半期純利益は21億63百万円となりました。

なお、当社は飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

また、当第3四半期連結累計期間は、連結初年度であるため、前年同期との比較分析は行っておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は360億40百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金56億28百万円、有形固定資産193億88百万円であります。

負債につきましては、145億43百万円となりました。主な内訳は買掛金35億4百万円、未払金30億87百万円、リース債務30億82百万円であります。

純資産につきましては、214億96百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金171億1百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間は、連結初年度であるため、前連結会計期間末との比較分析は行っておりません。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年10月期の業績予想につきましては、平成25年3月8日に公表いたしました内容から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、平成25年10月期第1四半期連結会計期間より、Kula Sushi USA, Inc. の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、平成25年10月期第1四半期連結会計期間より、平成24年11月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
 (平成25年7月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	5,628,304
原材料及び貯蔵品	548,850
その他	832,840
流動資産合計	7,009,995
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	11,882,212
その他(純額)	7,506,433
有形固定資産合計	19,388,645
無形固定資産	
投資その他の資産	1,258,546
長期貸付金	3,404,992
差入保証金	3,669,722
その他	1,308,636
投資その他の資産合計	8,383,351
固定資産合計	29,030,543
資産合計	36,040,539
負債の部	
流動負債	
買掛金	3,504,689
1年内返済予定の長期借入金	250,000
未払金	3,087,936
未払法人税等	666,633
その他	2,080,908
流動負債合計	9,590,168
固定負債	
長期借入金	450,000
リース債務	3,082,163
資産除去債務	1,136,858
その他	284,698
固定負債合計	4,953,719
負債合計	14,543,887
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,005,329
資本剰余金	2,334,384
利益剰余金	17,101,867
自己株式	△185
株主資本合計	21,441,395
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	55,256
その他の包括利益累計額合計	55,256
純資産合計	21,496,652
負債純資産合計	36,040,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)
売上高	65,303,007
売上原価	29,481,798
売上総利益	35,821,209
販売費及び一般管理費	32,345,163
営業利益	3,476,045
営業外収益	
受取利息	48,725
受取手数料	182,902
為替差益	131,244
物販収入	174,387
雑収入	17,620
営業外収益合計	554,882
営業外費用	
支払利息	57,161
物販原価	115,791
雑損失	15,635
営業外費用合計	188,588
経常利益	3,842,338
特別損失	
固定資産除却損	14,128
店舗閉鎖損失	67,001
減損損失	58,219
特別損失合計	139,349
税金等調整前四半期純利益	3,702,988
法人税、住民税及び事業税	1,530,070
法人税等調整額	9,235
法人税等合計	1,539,306
少数株主損益調整前四半期純利益	2,163,682
四半期純利益	2,163,682

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成24年11月1日  
至 平成25年7月31日)

少数株主損益調整前四半期純利益	2,163,682
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	55,256
その他の包括利益合計	55,256
四半期包括利益	2,218,938
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	2,218,938
少数株主に係る四半期包括利益	—



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。